

2021年10月25日

報道関係者各位

国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学

先端科学技術を活用する地域共創推進室が本格始動 キックオフシンポジウム ～「産官学金」によるイノベーション都市 NARA の創造～ を開催

【概要】

奈良先端科学技術大学院大学（学長：塩崎一裕、以下：奈良先端大）は2021年4月1日（木）に、地域の産官学金による「共創の場」実現を目指し、南都銀行（代表取締役頭取：橋本隆史）とともに「地域共創推進室」を設置しています。今回、活動を本格的に推進するにあたって、11月24日（水）13時半から、奈良県コンベンションセンターで『地域共創推進室キックオフシンポジウム～「産官学金」によるイノベーション都市 NARA の創造～』（主催：奈良先端大、共催：南都銀行）を開催することとなりました。

「地域共創推進室」は、地域の産業界（産）や自治体（官公庁）が蓄えた様々なシーズや、活用の受け皿となるニーズをめぐり、奈良先端大（学）の先端科学技術研究と南都銀行（金融機関）の地域に密着した活動を両輪にして紡ぎ合わせることで、地域が抱える課題を産官学金の連携により解決し、創造的な社会の発展につなげる「共創」の実現を目的としています。

シンポジウムでは、講演会と合わせて展示ブースでのマッチングイベントを行います。まず、講演会では、野田五十樹 北海道大学教授／人工知能学会会長／MIRAI SHARE 取締役による基調講演に続き、奈良先端大の各領域から、諏訪博彦 情報科学領域特任准教授、高木博史 バイオサイエンス領域教授、中村雅一 物質創成科学領域教授、清水洋 ナノテクノロジープラットフォーム特任教授が講演します。

また、展示ブースでは、本学の各領域、センターに加えて大学発ベンチャーなどのシーズがポスター展示の形で披露されます。

シンポジウム開催後は、産業界や地域自治体から寄せられるニーズ・シーズを基に、地域課題解決に向けたプロジェクトを実施、推進していく計画です。現段階では、スマートシティの推進、観光振興、地域人材育成などのテーマが候補に挙がっています。

本シンポジウムにご参加頂き、地域の発展を目指した地域の産官学金による「共創の場」へのご参加を検討下さいます事、よろしくお願い申し上げます。

【ご連絡事項】

(1) 本件につきましては、奈良先端科学技術大学院大学から奈良県文化教育記者クラブをメインとし、学研都市記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブへ同時にご連絡しております。

(2) 取材希望がございましたら、恐れ入りますが下記までご連絡願います。

奈良先端科学技術大学院大学 企画総務課 渉外企画係

TEL : 0743-72-5026/5063 FAX : 0743-72-5011 E-mail : s-kikaku@ad.naist.jp

名 称： 地域共創推進室キックオフシンポジウム
～「産官学金」によるイノベーション都市 NARA の創造～
日 時： 2021 年 11 月 24 日（水） 13：30～18：00
場 所： 奈良県コンベンションセンター（奈良県奈良市三条大路 1 丁目 691-1）
主 催： 奈良先端科学技術大学院大学
共 催： 南都銀行

奈良先端大「地域共創推進室」は、2021 年 4 月 1 日（木）に、南都銀行とともに設置した、「産官学金による共創の場」です。

産業界「産」や地域自治体「官」が持つニーズとシーズを、奈良先端大の先端研究「学」と奈良に密着する南都銀行「金」が紡ぎ、地域が抱える課題の解決を図り、社会の発展につなげることを目的としています。

「地域共創推進室」の設置から半年が経過し、このたびキックオフシンポジウムの開催を企画しました。

シンポジウムは、スマートシティなど、先端科学技術により目指す“新たな世界”にかかる講演会と、奈良先端大の先端研究と産業界・地域自治体の間を取り持つ展示ブース・マッチングイベントで構成されます。

講演会は、野田五十樹 北海道大学教授／人工知能学会会長／MIRAI SHARE 取締役のほか、奈良先端大の各領域から、諏訪博彦 情報科学領域特任准教授、高木博史 バイオサイエンス領域教授、中村雅一 物質創成科学領域教授、清水洋 ナノテクノロジープラットフォーム特任教授を講師として迎えます。

また、展示ブース・マッチングイベントでは、奈良先端大の各領域以外にも、データ駆動型サイエンス創造センター・デジタルグリーンイノベーションセンターからのポスターの出展のほか、大学発ベンチャー・教育連携・産学連携などについての出展も予定しています。

本シンポジウム開催の後には、産業界や地域自治体から寄せられるニーズ・シーズごとに、奈良先端大の研究者（プロジェクトリーダー）、南都銀行、地域自治体、企業から構成されたプロジェクト推進会議を設置し、各プロジェクトを推進していきます。

各プロジェクトの候補例として、以下のものが挙げられます。

- ① スマートシティ推進プロジェクト（データ連携基盤整備を推進）
 - ・ AI 活用によるデジタルインフラ都市整備
 - ・ MaaS による都市交通網改革
 - ・ ローカル 5G 実証事件
- ② 観光振興プロジェクト（文化歴史発生の地の進行を図る）
 - ・ 自動翻訳システムによる外国人観光客獲得
 - ・ VR（仮想現実）と AR（拡張現実）の観光活用
- ③ 地域人材育成プロジェクト（プロフェッショナル人材を育成する）
 - ・ 新たな価値を生み出していく精神（アントレプレナーシップ）を備えた地域人材の育成

<本シンポジウムに関する問い合わせ先>

西澤真裕（にしざわまさひろ）

奈良先端科学技術大学院大学 地域共創推進室/研究推進機構 地域共創推進コーディネータ/URA
TEL：0743-72-5661 FAX：0743-72-5194 E-mail：nisizawa@rsc.naist.jp